

## ソフトウェア [mBlock] をインストール

[mBlock]には、パソコンやスマートフォン、タブレットにダウンロードして使用する[アプリ版<sup>くばん</sup>]と、インターネットブラウザ上で使用する[ブラウザ版]があります。

2つの大きな違<sup>ちが</sup>いはインターネット環境<sup>かんきよう</sup>が必要かどうかです。本書では、いつも最新<sup>くさいしん</sup>の状態<sup>じようたい</sup>で利用できる[ブラウザ版]をおすすめしています。



### ① [mBlock] にアクセスする

インターネットブラウザ (Microsoft Edge・Google Chromeなど) を起動して、[URL:<https://mblock.makeblock.com>] にアクセス、[ビジュアルプログラミング] をクリックしましょう。

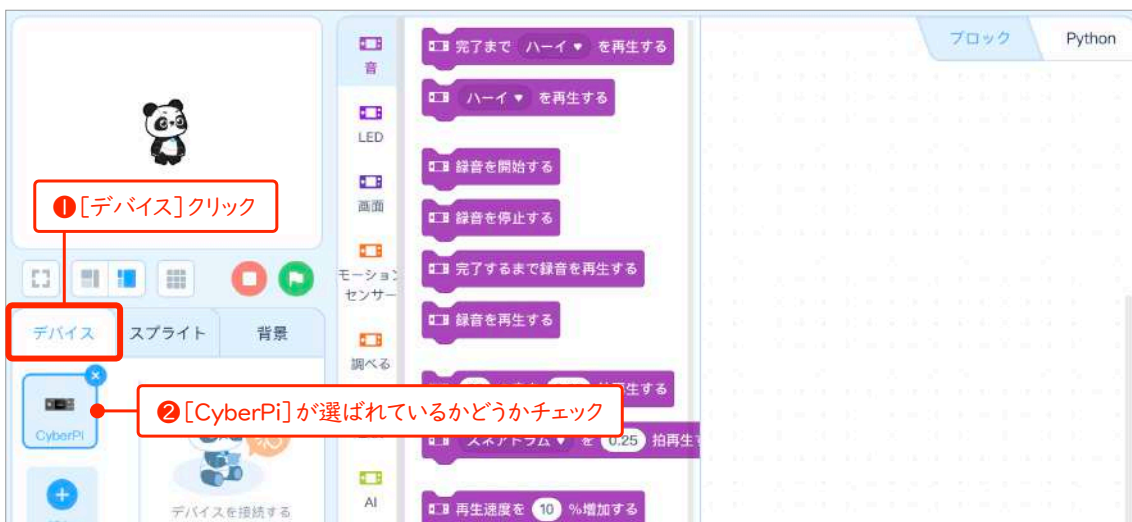
または、[URL:<https://ide.mblock.cc>] にアクセスすると、ビジュアルプログラミングの開発画面が直接<sup>ちやくせつ</sup>開きます。



## ② [mBlock] のプロジェクト作成画面を開く

[mBlock] はプログラムが組まれた状態で開きます。

[ファイル] → [新規<しんき>] の順<じゅん>にクリックすると、下のようなまっさらな画面を表示<ひょうじ>できます。



## ③ デバイスに [CyberPi] が表示されているか確認<かくにん>する

デバイスに [CyberPi<サイバーパイ>] が表示されていない場合は、[+追加<ついか>] をクリックしてデバイスを追加しましょう。

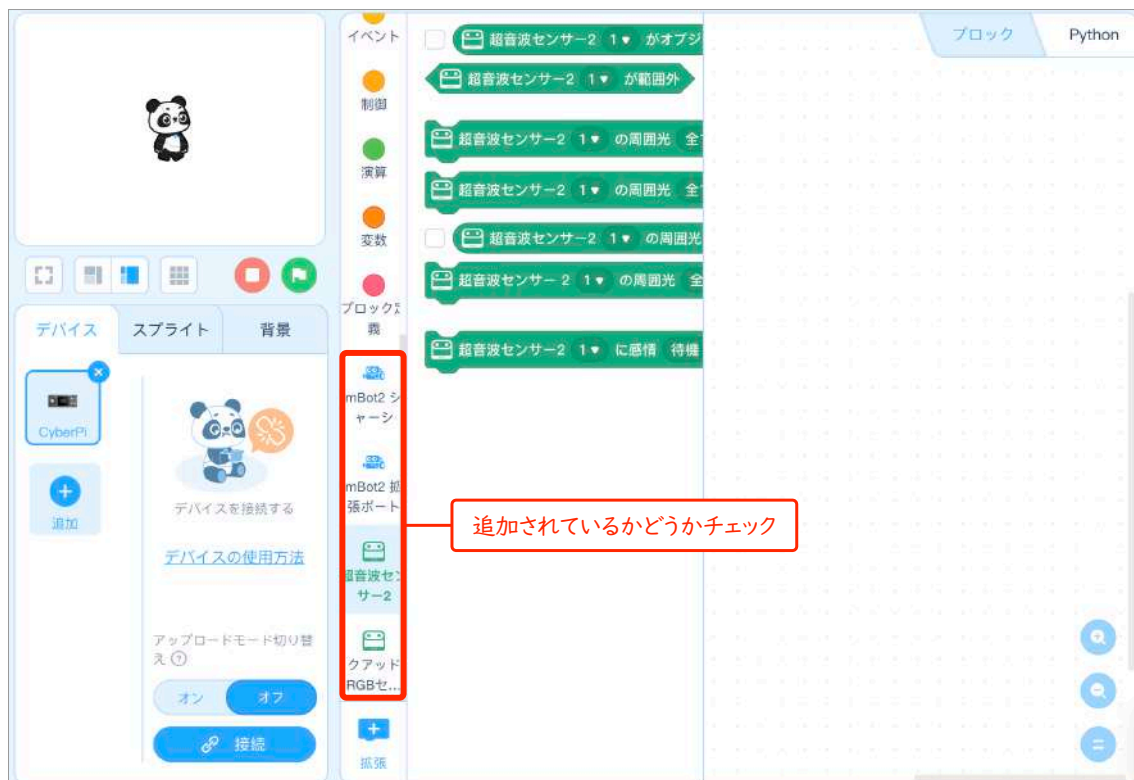
※デバイス追加の方法は、P.09で紹介しています。



#### ④ 拡張<かくちょう>ブロックを追加する

[拡張] をクリックして, [mBot2] の下の [+追加<ついか>] をクリックします。超音波<ちょうおんぱ>センサー, クアッドRGBセンサーを使用したい場合は, 緑で囲<かこ>んでいる場所もそれぞれクリックして追加します。

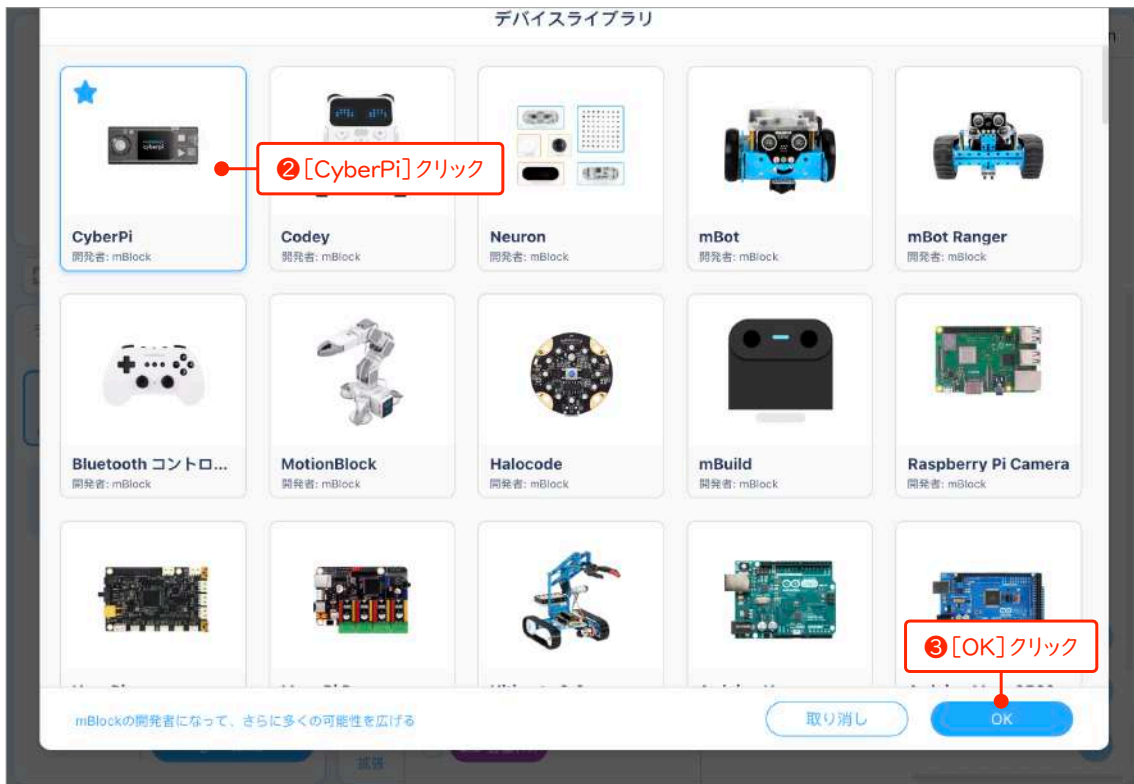
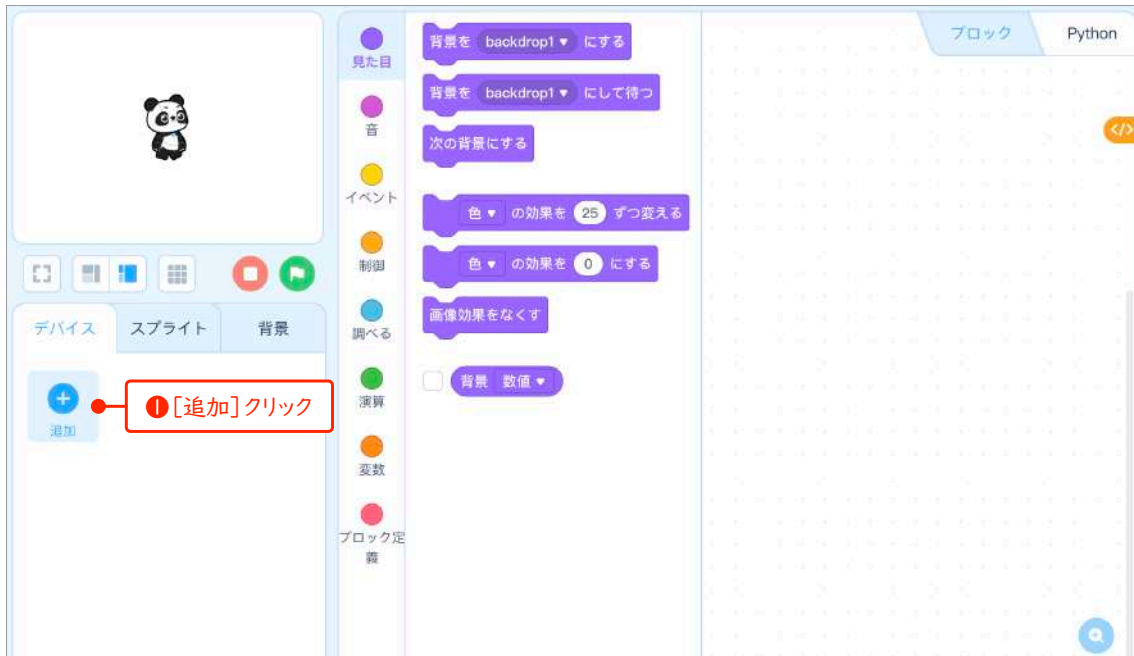
## 拡張ブロックを追加した画面



拡張ブロックを追加すると、[mBot2シャーシ]・[mBot2拡張ポート]・[超音波センサー2]・[クアドRGBセンサー]がブロックパレットに増えます。[mBot2]のみを追加した場合は、[mBot2シャーシ]・[mBot2拡張ポート]の2つが表示されます。

動画で[mBot2]の動かし方などを解説しています  
ソフトウェアのダウンロード, 拡張ブロックの追加方法から, プログラムの作り方・動かし方を動画で解説しています。学習に詰まったときは, 下のURLにアクセスして活用してください。  
[URL:<https://tech-progress.jp/mbot2>]

## デバイスに[CyberPi]を追加する方法

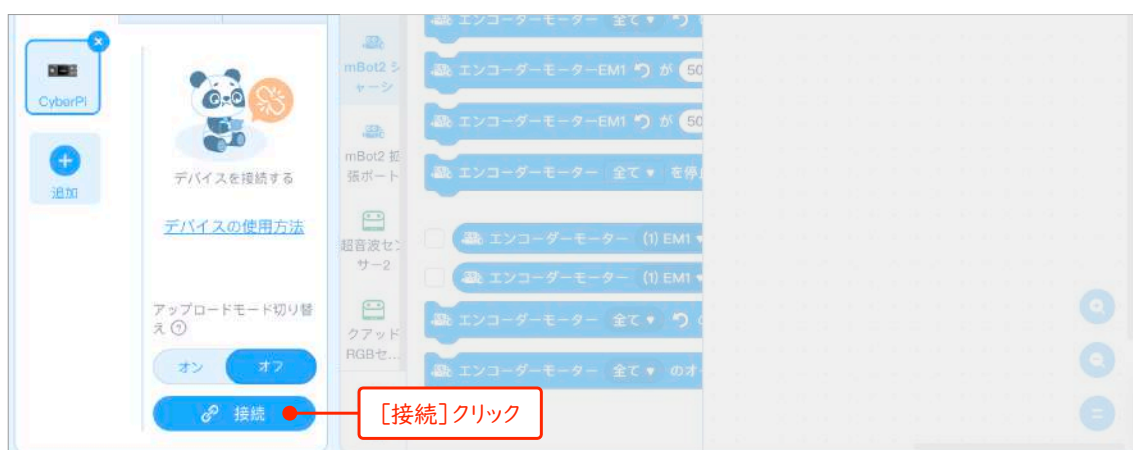


## [mBot2]を[mBlock]で制御する方法

[mBot2]を[mBlock]で制御くせいぎよする方法くほうほうは、パソコンと通信つうしんをしながら動かす「ライブモード」、[mBot2]にプログラムを転送して動かす「アップロードモード」の2つがあります。

本書では、プログラム毎に2つのモードを使い分けているため、確認かくにんしながら進めてください。

### ライブモードで制御するまでの流れ



[mBot2]と接続くせつぞくするためには、ドライバ[mLink(エムリンク)]をダウンロードして、起動する必要くひつようがあります。[mLink]のダウンロード方法くほうほうは、動画でも解説くかいせつしています。

また、パソコンと[mBot2]をUSBケーブルで繋くつないでおきましょう。



Macでは[~serial-●●●●●], Windowsでは[COM●]と表示ひょうじされます。基本的きほんてきに自動で選択せんたくされたものを変更へんこうせず、[接続]をクリックすれば制御せいぎよできるようになります。



### Bluetooth Dongleくブルートゥースドングルの使用くがおすすめ

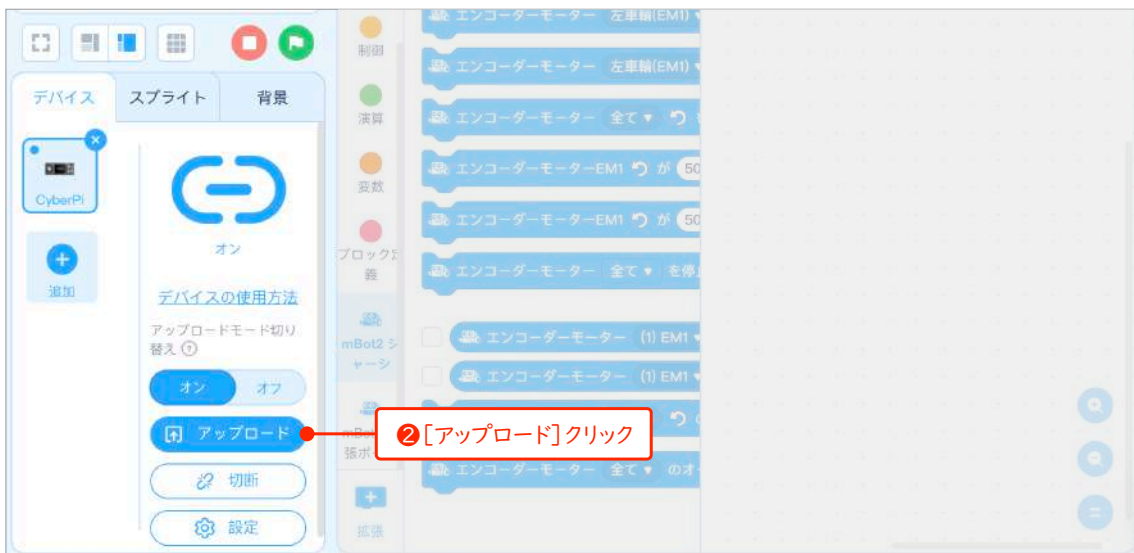
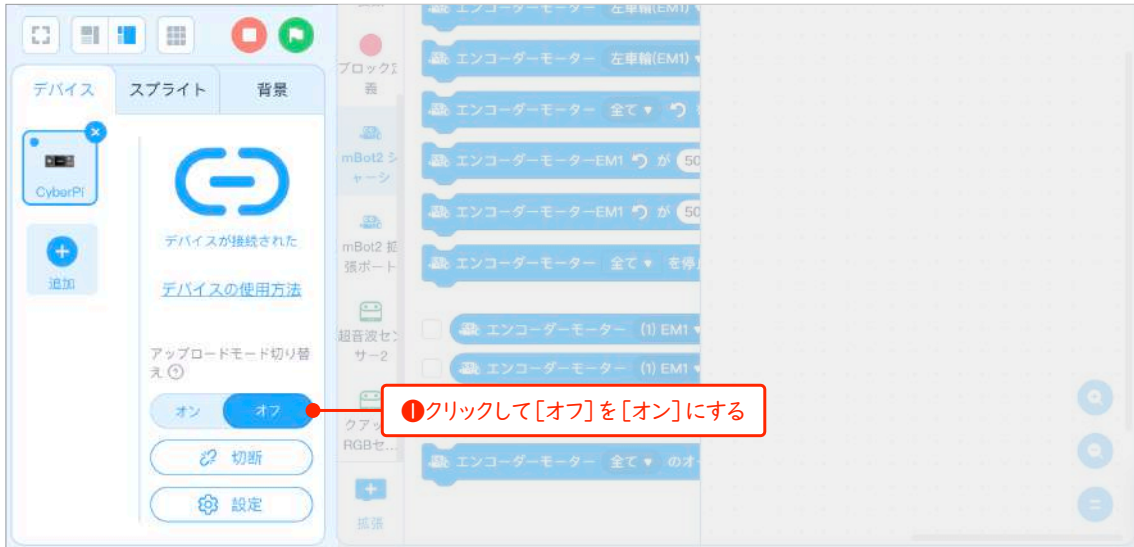
本書は、別売品「Bluetooth Dongle」の使用を想定してつくられています。

持っていない場合は、アップロードモードを使用して学習してください。



## アップロードモードで制御するまでの流れ

[mBlock]と接続ができている状態くじょうたいで[アップロードモード切り替かえ]をオンにして, アップロードをクリックします。



※アップロードモードでは, プログラムを変更へんこうするたびに[アップロード]をクリックして, [mBot2]にプログラムを転送する必要があります。